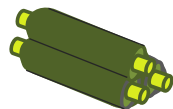


心肺蘇生法虎の巻

～AED使用の場合～



心肺蘇生法 はじめ

① 安全の確認と反応の確認

人が倒れているよ！

大丈夫ですか？
大丈夫ですか？



- ・まず、周囲の安全確認をします。
- ・呼びかけて、開眼・返事・目的のある仕草がなければ「意識なし」と判断します。

② 119番通報と協力者への依頼

誰かきて...救急車を呼んで！
AEDを探して！



- ・反応がないと判断した場合、又は反応があるかどうか迷った場合は、直ちに大声で助けを求め、救急車とAEDの手配をします。

③ 呼吸の確認

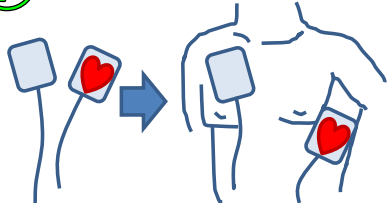


- ・普段どおりの呼吸があるかどうか、胸と腹部の動きを見て10秒以内に確認します。動きがない場合は呼吸が止まっていると判断します。

感染症対策！！

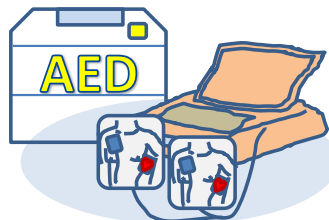
- ・感染防護器具がなく、口と口が接触することに躊躇する場合は、人工呼吸を省略し胸骨圧迫を実施します。【小児には、できる場合は人工呼吸を組み合わせます。】
- ・倒れている人がマスクをしていたら、外さずに心肺蘇生を開始します。マスクがなければ、口と鼻に布などを被せます。

⑦ 心電図の解析



- ・電極パッドを胸に貼り付けます。胸が濡れているときはタオル等で拭き取ります。その後自動的に心電図解析が始まります。「みんな離れて」と周囲に注意を促しましょう。

⑥ AED到着後電源ON



- ・AEDのふたを開け、電源を入れます。以降はメッセージに従って操作をします。

⑤ 人工呼吸を2回



- ・気道を確認し、息を約1秒かけて吹き込みます。いったん口を離し、同じ要領でもう1回吹き込みます。
- ・その後は胸骨圧迫と人工呼吸の組合せ(30:2)を連続します。人工呼吸ができない場合は、胸骨圧迫のみを行います。

④ 胸骨圧迫を30回



- ・普段どおりの呼吸がない、又はその判断に自信が持てない場合は心停止と判断し、胸の真ん中にある胸骨下半分を両手で強く・速く・絶え間なく圧迫します。テンポは1分間に100～120回、深さは胸が約5cm沈む(6cmを超えない)まで圧迫します。小児・乳児は両手又は片手で胸の厚さの1/3沈むまで圧迫します。

⑧ 電気ショック☆!!



ショックが必要です...!!
充電中です...!!

- ・AEDが、電気ショック必要と判断したらショックボタンを押します。「ショックします、離れて」と注意を促しショックボタンを押します。

⑨ 心肺蘇生法の再開



- ・再度心電図の解析が始まるまで胸骨圧迫30回・人工呼吸2回を、くり返し続けます。人工呼吸ができない場合は、胸骨圧迫のみを行います。

⑩ AEDの手順と心肺蘇生法のくり返し



- ・救急隊に引き継ぐまで、または傷病者が目を開けたり、普段通りの呼吸が出現するまで心肺蘇生を続けます。電極パッドははがさず電源も入れたままにしておきます。